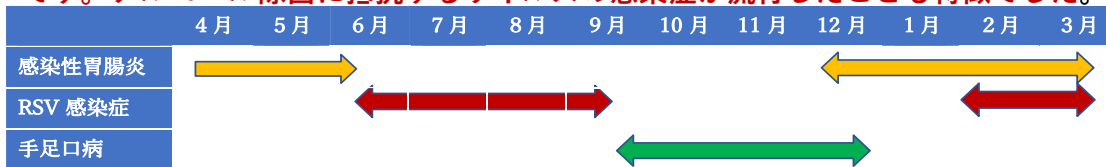




令和3年度の感染症カレンダー

令和3年度に今治市内で流行した感染症カレンダーを作成しました。コロナが流行し、インフルエンザが姿を消してから**感染症の季節的流行パターンが変わりました**。これまで冬から春にかけて流行していたRSV感染症は昨年夏に大流行しました。また毎年夏に流行する手足口病は、少し遅れて秋から冬にかけて流行しました。**感染性胃腸炎のノロウイルス、手足口病のエンテロウイルス、アデノウイルスなどはアルコール消毒が効きにくいウイルス（ノンエンベロープウイルス）です。アルコール除菌に抵抗するウイルスの感染症が流行したことも特徴でした。**



キッズケア青い鳥の利用状況 (2021年4月～2022年3月)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
稼働日数	18	17	22	20	21	21	21	20	21	20	20	20	241
利用人数	34	48	108	115	98	72	63	46	34	25	33	83	759
キャンセル数	30	42	60	129	66	41	43	30	25	20	24	31	541



Q: RSV感染はなぜ流行を防ぐのが難しいのか？

- ①一度かかっても何度も感染する：2月下旬から流行し始めたRSV感染症。昨年夏にも大流行。その時に感染したお子さんが今回も感染しています。一度感染しても免疫が付きにくく、半年もすると再感染してしまうようです。
- ②迅速検査は早期診断にはならない：RSV感染症を疑い病院を受診するときは、発病から2～3日が経過しており、すでに周りの人に感染させてしまっています。再感染の人は軽症者が多いため、その人たちが集団生活の場で感染源になっていることも多いのです。**迅速検査の目的は診断の確定と治療方針の決定することにあります。**

3月の感染症情報

RSV感染症と感染性胃腸炎が流行しています。新型コロナ感染症も持続的に発生しており、当院では17例の発生がありました。RSV感染症は3歳以下の発症がほとんどで、保育所やこども園で感染し家庭内で兄弟に感染するケースが目立ちました。現在流行中の感染性胃腸炎は嘔吐が主な症状です。



3月の利用状況

3月の利用延べ人数は83名で、1日平均利用人数は4.2人でした。年齢別では1歳児が42人で最も多く、次いで2歳児の24人でした。疾患別ではRSV感染症が45人で全体の半数以上を占めており、次いで急性上気道炎22人、感染性胃腸炎11人の順でした。1歳児のRSV感染症が最も多かった印象です。RSV感染症は細気管支炎を起こし症状が改善するのに7～10日かかります。そのため一度入室すると連日利用のお子さんが多いため3月は利用人数が増えました。入園、お花見などで人の移動が増える時期です。メリハリのある感染対策を心がけたいものです。